

(第1号様式)

令和6年5月9日

神奈川県教育委員会教育長 殿

## 学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	岸根高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・普通科
-----	--------	------------------	---------

### 1 学校のミッション

- 全日制の課程学年制普通科を設置する高校として、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 次代を担う社会に貢献することのできる人材の育成をめざし、生徒の自主的・主体的な活動や、地域との連携を推進し、豊かな情操や寛容の心、敬愛の精神を育む。
- 基礎的・基本的な知識・技能の定着とそれを活用して課題を解決する思考力・判断力・表現力や、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育むよう、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて不断の授業改善を進めるなど、教育活動の充実に取り組む。

### 2 学校教育目標

- 知・徳・体の調和のとれた教育をめざし、明朗かつ健康で次代をにこなうことができる人材を育成するため、次の目標掲げる。
  - ア 学習意欲の向上
  - イ 心身の健全な育成
  - ウ 平和・自然・文化への貢献
  - エ 協調・奉仕の精神の徹底

### 3 計画策定時点での課題

- 「主体的に学習に取り組む態度」を重視し、指導と評価を一体化した授業の展開が求められる。
- 生徒が行事・特別活動等を自主的に、かつ「探究」を意識した運営ができるよう支援する。
- 心身の健全な育成を目指し、生徒一人ひとりの多様なニーズに応じた支援が必要である。
- キャリア教育において、地域の教育資源の活用を持続的に行う必要がある。
- これまで蓄積してきた地域等との良好な関係を、持続可能な継続に見直す必要がある。
- より一層生徒の活動を支援するための設備や備品等の整備を行う必要がある。

#### 4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	① 個別最適な学習や多様な進路選択に対応できるよう、教育課程を編成する。 ② 生徒が自ら学ぶ意義を客観的に捉える力を高め、「探究力」を育成する。 ③ 生徒一人ひとりが意欲的に取り組める行事・特別活動等を充実させ、生徒の主体的な行動の促進を図る。	① 社会のニーズに合わせて授業環境等を整備し、教材の工夫、授業研究に取り組む。 ② 「学びに向かう力」や「探究力」を重視し、指導と評価を一体化した授業を展開する。 ③ 生徒の意見等を尊重し、職員・生徒が一丸となって意欲的に取り組める行事・特別活動等となるように支援する。
2	生徒指導 ・支援	① 行事・部活動等を通して、「協働」の精神の涵養を図り、自己及び他者を尊重する態度を養う。 ② 地域とかかわり、地域から愛され、信頼される生徒を育成する。 ③ 個に応じた教育相談体制の充実を図る。	① 生徒が行事・部活動等に求めているニーズを把握するとともに、他者と協働しながら活動を進めていけるように支援する。 ② 生活ルールのある浸透や自己肯定感の高揚を目指し、足並みを揃え、根気強い支援・指導を継続する。 ③ SC、SSW等と連携し、個に応じた教育相談体制の円滑な運営に取り組む。
3	進路指導 ・支援	① 自己と社会を見据え、社会に求められる力を育むためのキャリア教育の確立を図る。 ② 生徒の第一志望実現に向けた、進路支援の確立を図る。	① 地域の資源を積極的に活用し、本校独自の「総合的な探究の時間」を3年間の見通しを持って取り組めるよう支援する。 ② 社会状況や上級学校の動向を常に把握し、個別最適な進路指導が進められるよう支援する。
4	地域等との 協働	① 地域との交流や活動を積極的に行い、生徒が主体的に活動する場を提供し、地域とかかわる力の育成を図る。 ② 学校運営協議会等を活用し、地域に開かれた学校づくりに取り組む。	① 生徒が自ら活動の意義を考えられるよう指導・支援を行い、関係諸機関との連絡をきめ細かく行うとともに、職員間の共通認識を確認しながら各活動を行う。 ② 学校運営協議会等を活用し、外部からの意見や視点を積極的に知り、地域に貢献する取組を検討・実施する。
5	学校管理 学校運営	① 教育環境の変化に対応し、適切な設備・備品管理や環境整備等に取り組む。 ② 生徒・職員の防災意識の向上を推進し、地域に開かれた学校として連携を図る。 ③ 職員の事故・不祥事防止に努める。	① ICT活用のさらなる推進に伴い、適した備品等の管理・整備を図る。 ② 教育活動全体をとらえて防災教育を実施し、地域と連携した防災対策を推進する。 ③ 事故・不祥事防止研修を、時宜にかなうテーマで定期的実施する。